

次世代自動車開発支援事業 事業報告

瀬戸彰文*, 中村創一*, 富村哲也*

Next Generation Automobile Development Support Program

Akifumi SETO, Soichi NAKAMURA and Tetsuya TOMIMURA

1. はじめに

三重県には、自動車の完成車メーカーや自動車部品を製造する企業が数多く存在している。近年、環境問題への関心が高まり、多くの国が電気自動車（以下、EV）の普及を推進しており、従来の内燃機関からの大きな転換が求められている。

本事業では、自動車関連企業をはじめとする県内ものづくり中小企業・小規模企業の技術向上と新分野・新業種への展開を目的に、市販されているEV等の分解部品展示と電動化に関する技術セミナーを開催した。

2. 分解部品展示

現在、市販されているEVや100%電動駆動のハイブリッド車の現行モデルと旧型モデルの主要な電動化部品（モーター、インバーター、リチウムイオンバッテリー等）を展示した。この展示により、新旧モデルの比較が可能となり、技術の変遷を確認できる場となった。また、見学者が部品を触ったり持ったりすることで、その大きさや重さを体感できるよう配慮した。

* プロジェクト研究課

令和6年度には約200名が見学に訪れた。特に自動車部品を製造する企業の方が多く訪れ、自社製品の利用状況を把握することを目的に見学されていた。また、自動車産業への新規参入を検討している企業や、自社の部品が受注されなかった企業も、実際に使用されている部品の確認を通じて、技術や市場の調査に活用されていた。

3. セミナー開催

セミナーでは、外部講師を招き、自動車の電動化部品の紹介や技術トレンド、海外の電動自動車技術について講演を行った。セミナーには分解部品や実車の見学・解説も含まれ、定員を超える申し込みがあったことから、参加者の関心の高さが伺えた。セミナーの概要は表1に示す。

4. まとめ

今後も自動車産業の動向を注視し、県内企業の技術力向上および新分野の展開につなげる取り組みを継続する。また、電動化に必要な技術情報の提供や最新技術の紹介を通じて、企業が新たなビジネスチャンスを見つける支援を行う。

表1 令和6年度に開催した電動自動車分解展示・解説セミナー

セミナー	開催日	内容	参加者数
第3回	令和6年 10月3日	● 「日米欧中の電動車分解により見えてきた次世代電動車技術と 三重県内企業が執るべき将来技術戦略」 名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授 山本 真義 氏 ● 電動車分解部品展示の見学・解説	52名